

地域の観光振興に貢献する地域航空を考えるシンポジウム「航空と観光」



日本の地域航空ネットワークの現状



2014年7月2日

日本政策投資銀行 増田真男

787 DREAMLINER™

Copyright ©2015 The Boeing Company

 **DBJ** Development Bank of Japan

281294

目 次



国際線ネットワーク

- 空港別就航都指数
- 地方都市の就航便数
及び路線数
- インバウンド需要動向

国内線ネットワーク

- 国内線旅客数及び路
線数推移
- 地域航空ネットワー
クの現状

まとめ・課題

- 現状のまとめと今後
の課題

著作権(C)Development Bank of Japan Inc. 2013

当資料は、株式会社日本政策投資銀行(DBJ)により作成されたものです。

当資料は、貴社及び当行間で検討／議論を行うことを目的に貴社限りの資料として作成されたものであり、特定の取引等を勧誘するものではなく、当行がその提案内容の実現性を保証するものではありません。

当資料に記載された内容は、現時点において一般に認識されている経済・社会等の情勢および当行が合理的と判断した一定の前提に基づき作成されておりますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。また、ここに記載されている内容は、経営環境の変化等の事由により、予告なしに変更される可能性があります。

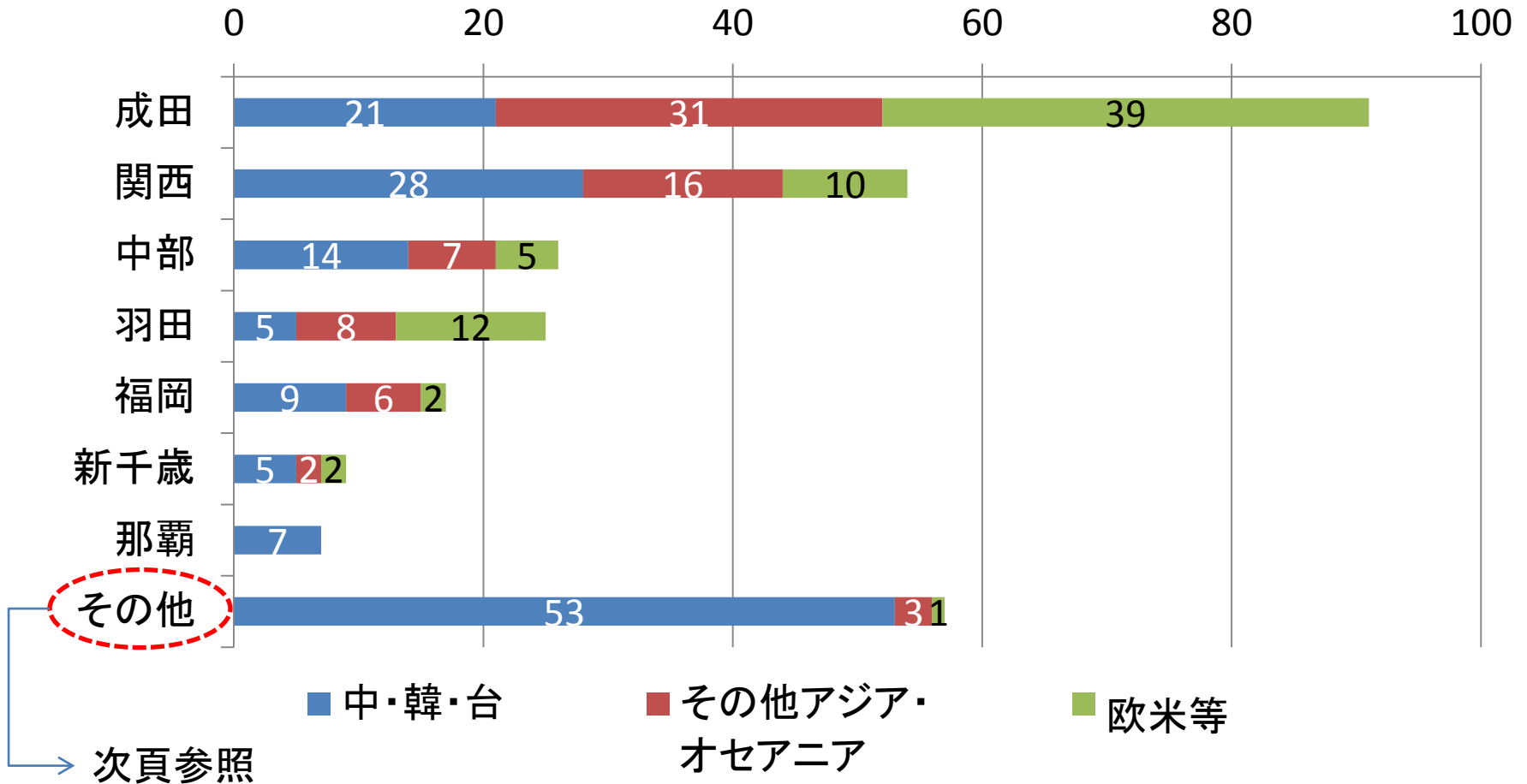
当資料のご利用並びに取り組みの最終決定に際しましては、貴社ご自身のご判断でなされますよう、また必要な場合には顧問弁護士、顧問会計士などにご相談の上でお取り扱い下さいますようお願い致します。

当行の承諾なしに、本資料(添付資料を含む)の全部または一部を引用または複製することを禁じます。

日本の国際線ネットワーク



空港別就航都市数(2014年冬ダイヤ)

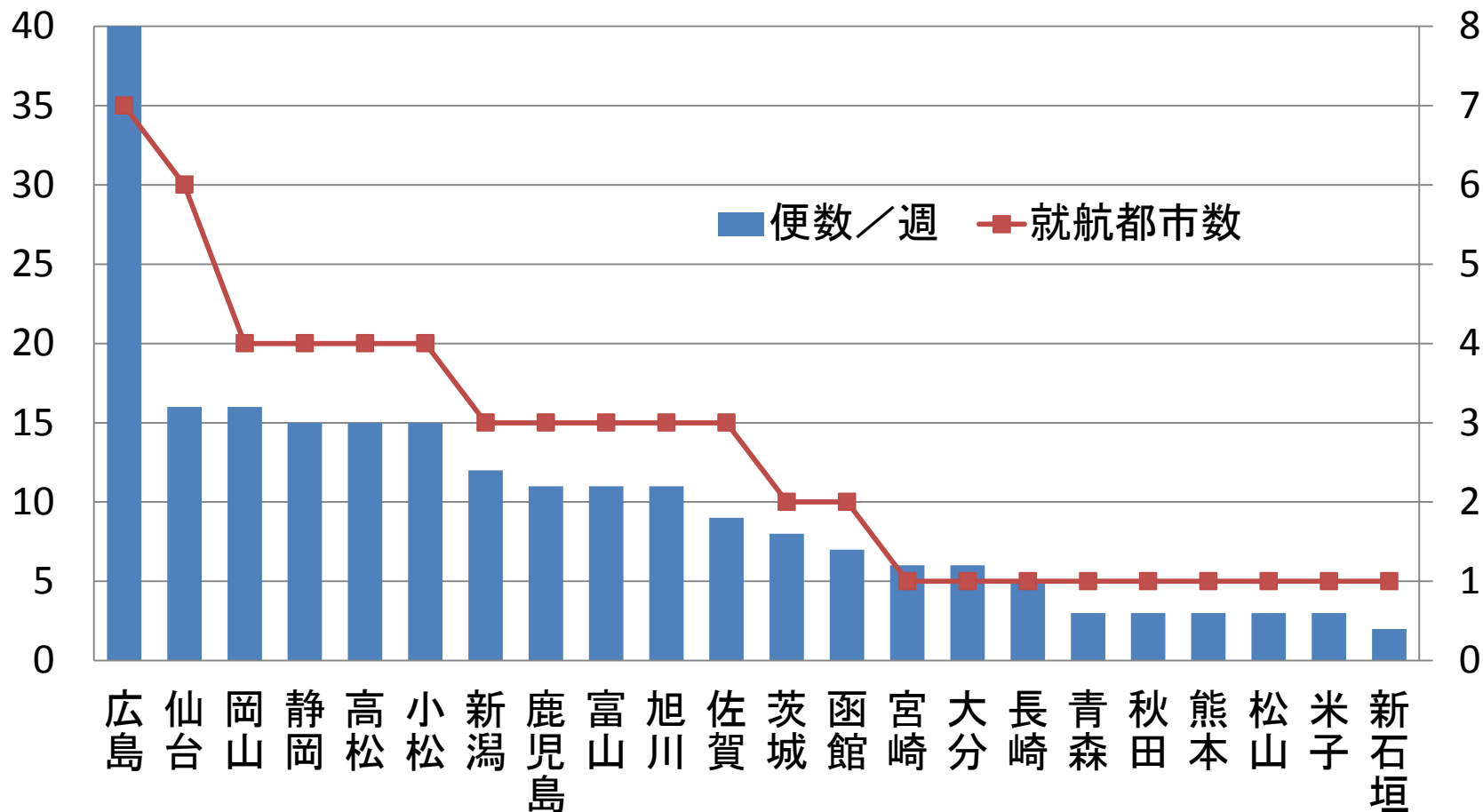


(出所)国土交通省航空局「各空港、国際線の就航状況調べ(2014年12月26日発表)」よりDBJ作成

日本の国際線ネットワーク(続き)



地方都市の国際線就航便数(週当たり)及び路線数

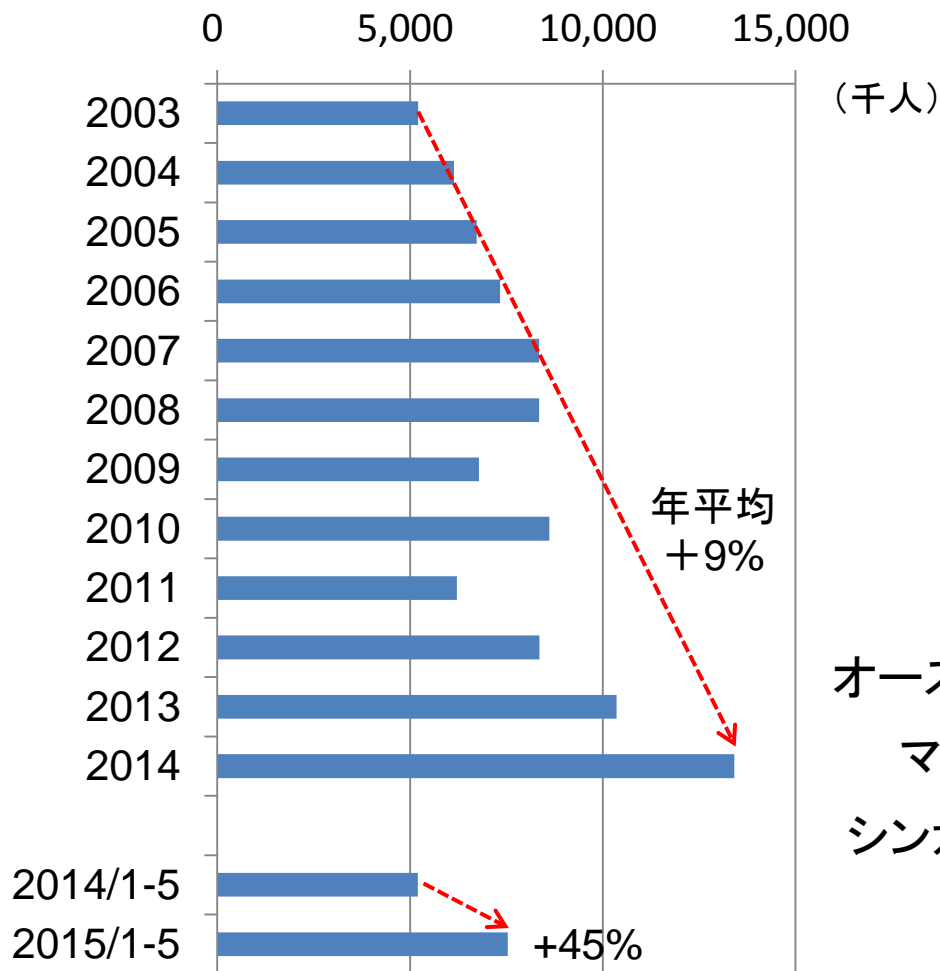


(出所)国土交通省航空局「各空港、国際線の就航状況調べ(2014年12月26日発表)」よりDBJ作成

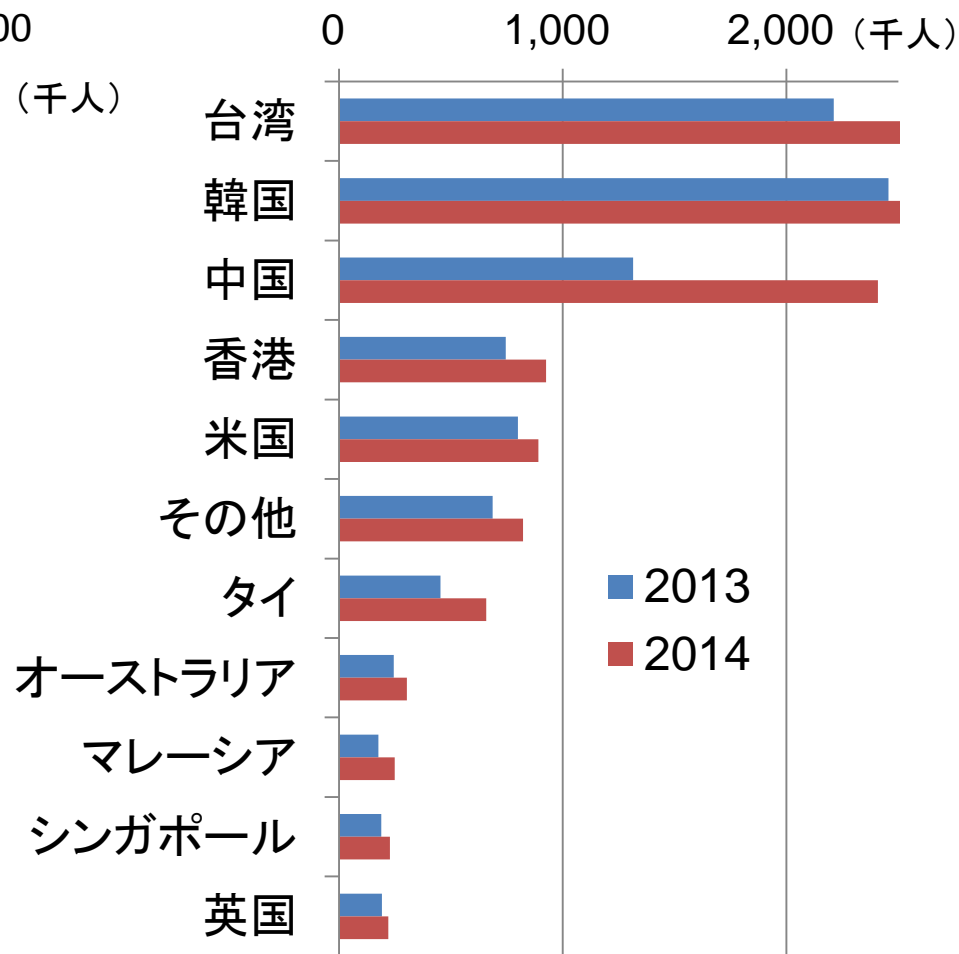
インバウンド需要の動向



インバウンド旅行者数の推移



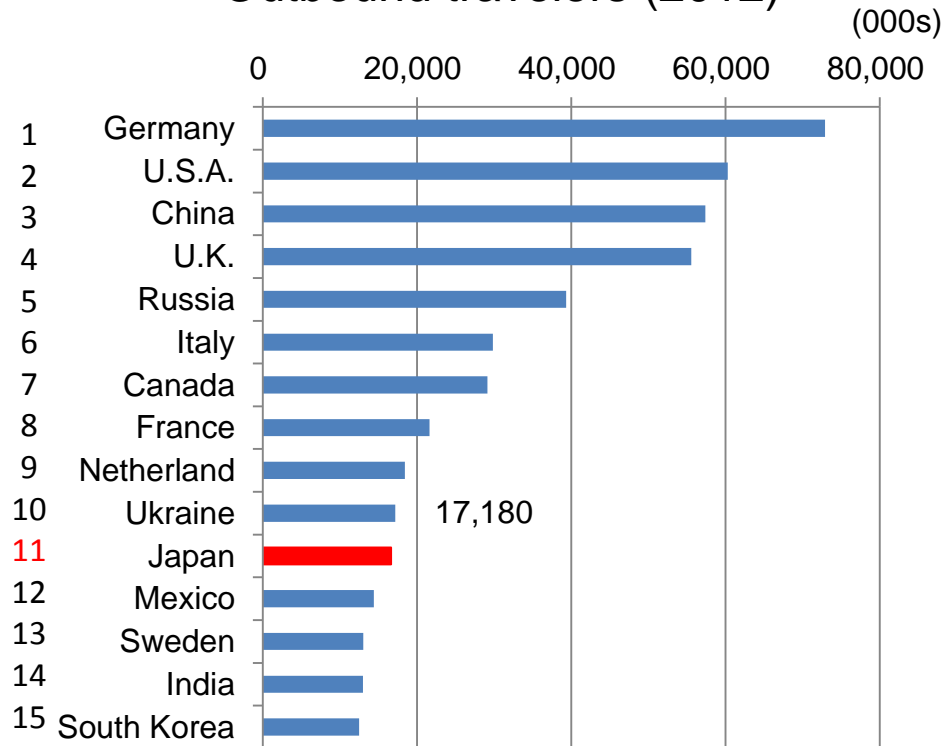
国別インバウンド旅行者数



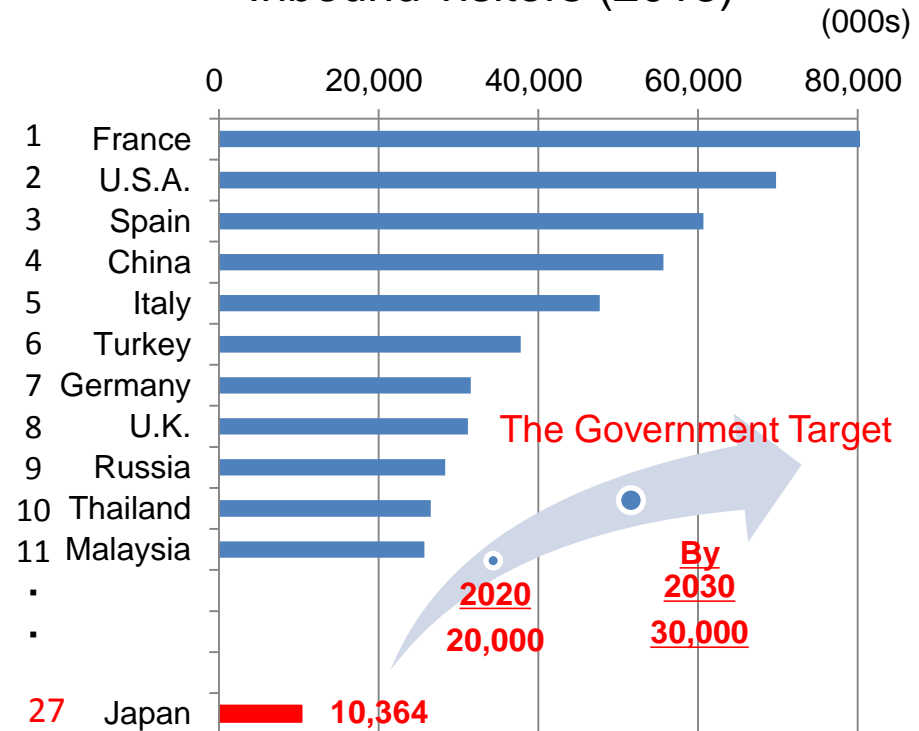
インバウンド需要の各国比較



Outbound travelers (2012)



Inbound visitors (2013)



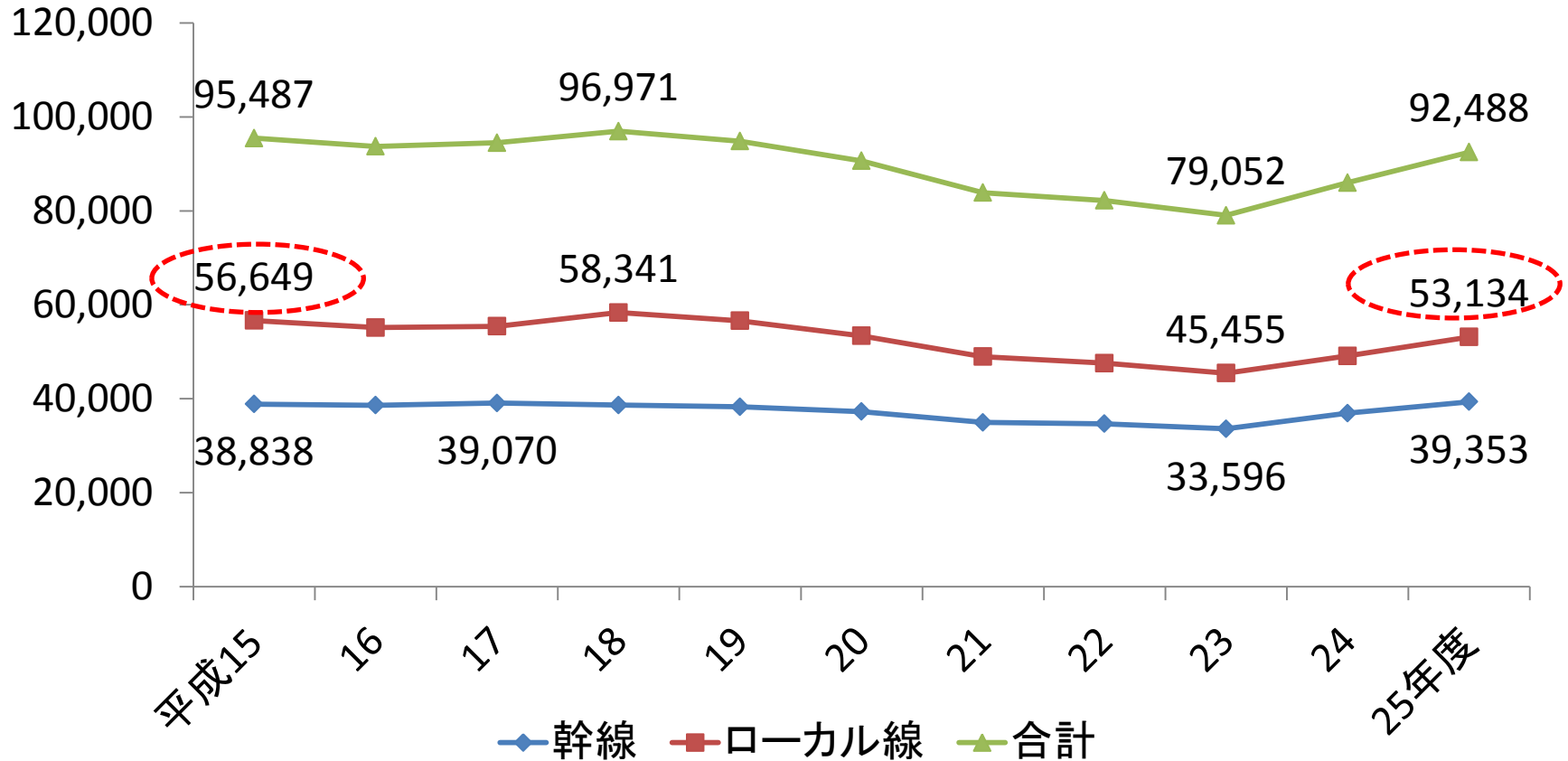
(出所) 日本政府観光局 (JNTO) 発表資料等よりDBJ作成

日本の国内線ネットワーク



国内線旅客数推移

(単位:千人)



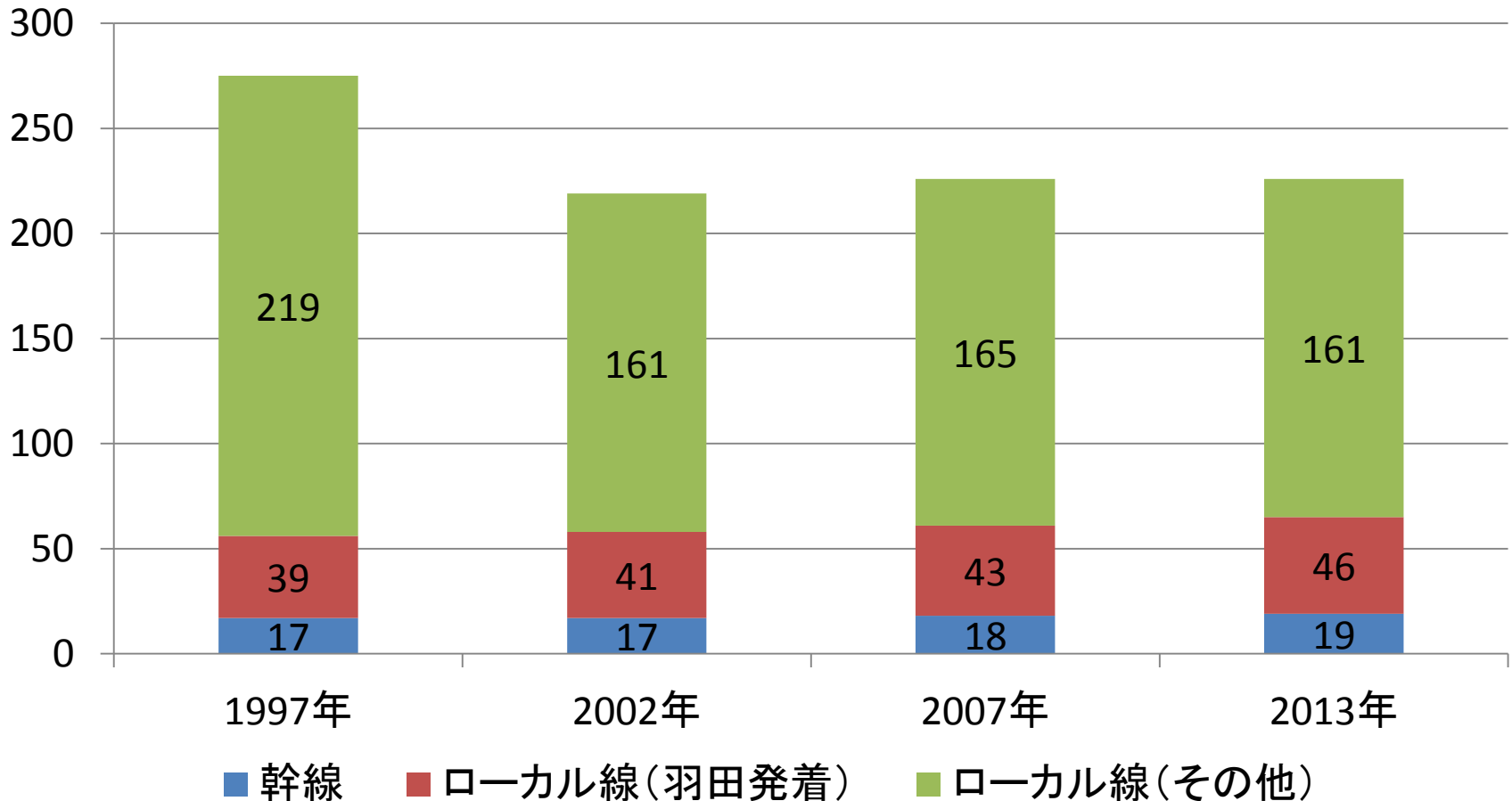
(備考) 幹線: 新千歳、羽田、成田、伊丹、関西、福岡及び那覇の各空港を相互に結ぶ路線
ローカル線: 上記以外

(出所) 国土交通省航空輸送統計年報よりDBJ作成

日本の国内線ネットワーク(続き)



国内線路線数推移



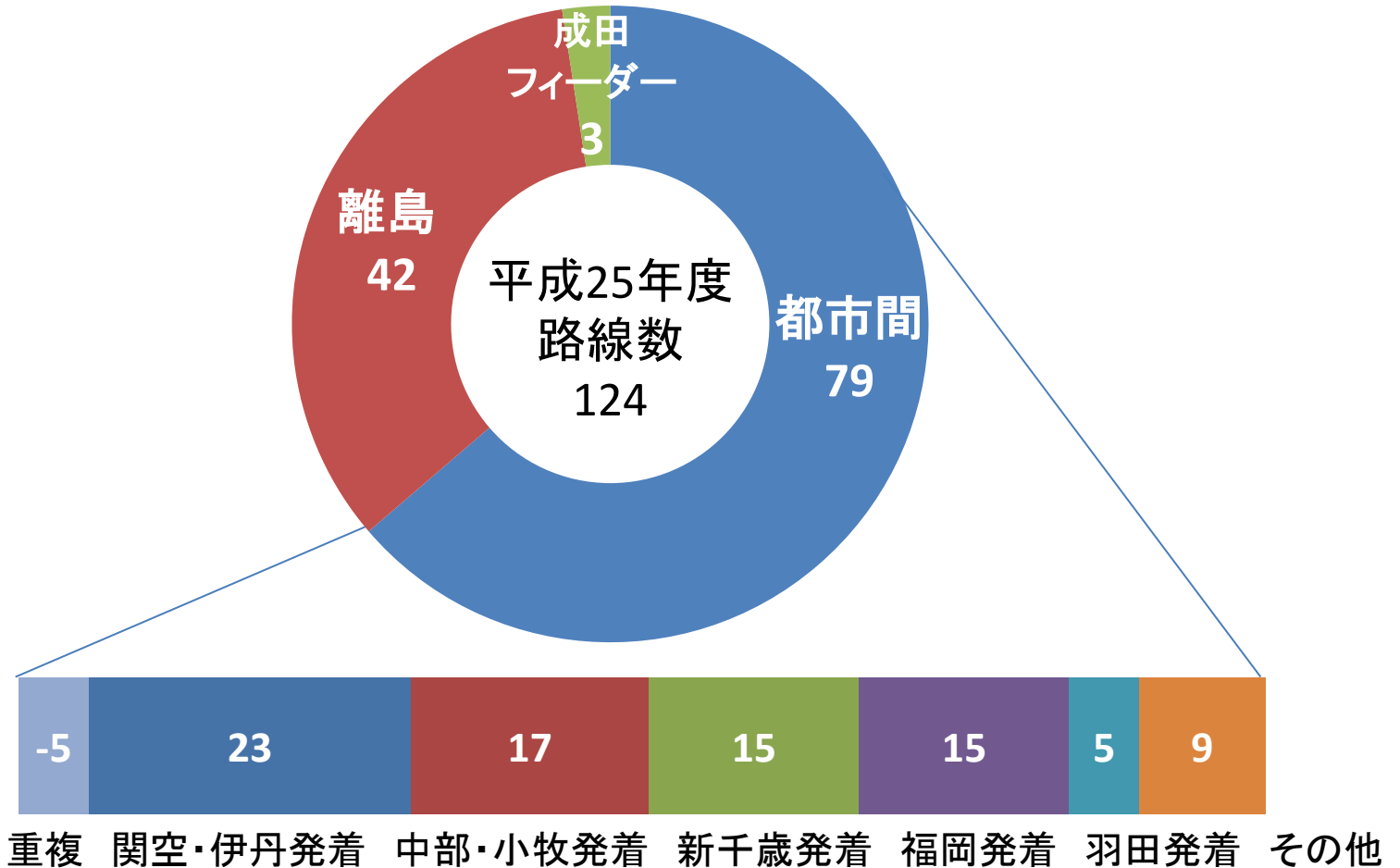
(備考) 幹線: 新千歳、羽田、成田、伊丹、関西、福岡及び那覇の各空港を相互に結ぶ路線
ローカル線: 上記以外

(出所) 国土交通省航空輸送統計年報他よりDBJ作成

地域航空ネットワークの現状



全国地域航空システム推進協議会の地域航空事業者(10社)旅客実績(除くヘリコプター)

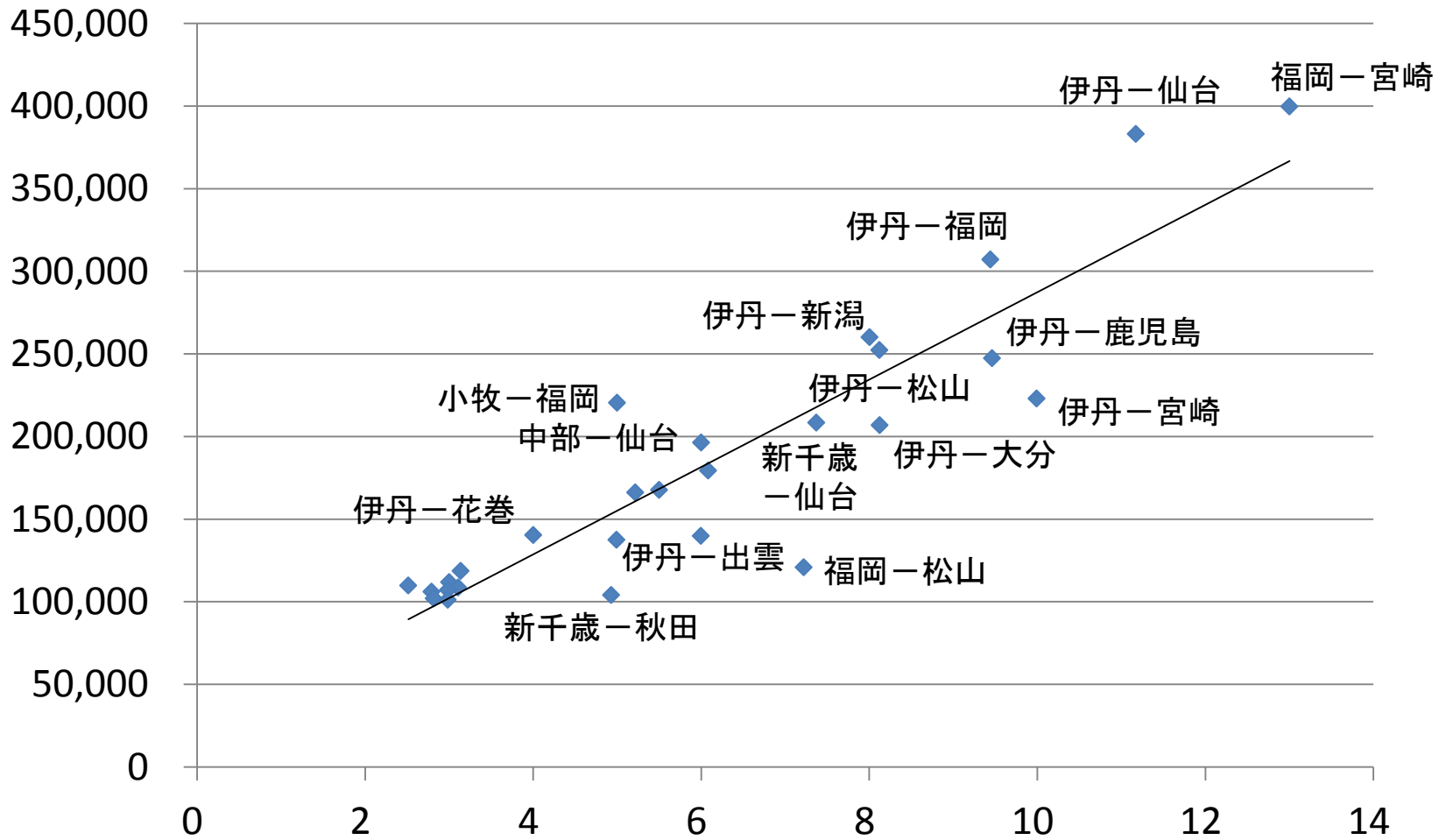


(出所)全国地域航空システム協議会「平成25年度地域航空事業者旅客実績」よりDBJ作成

地域航空ネットワークの現状(続き)



年間旅客数10万人以上の路線(27路線)の運航頻度及び年間旅客数

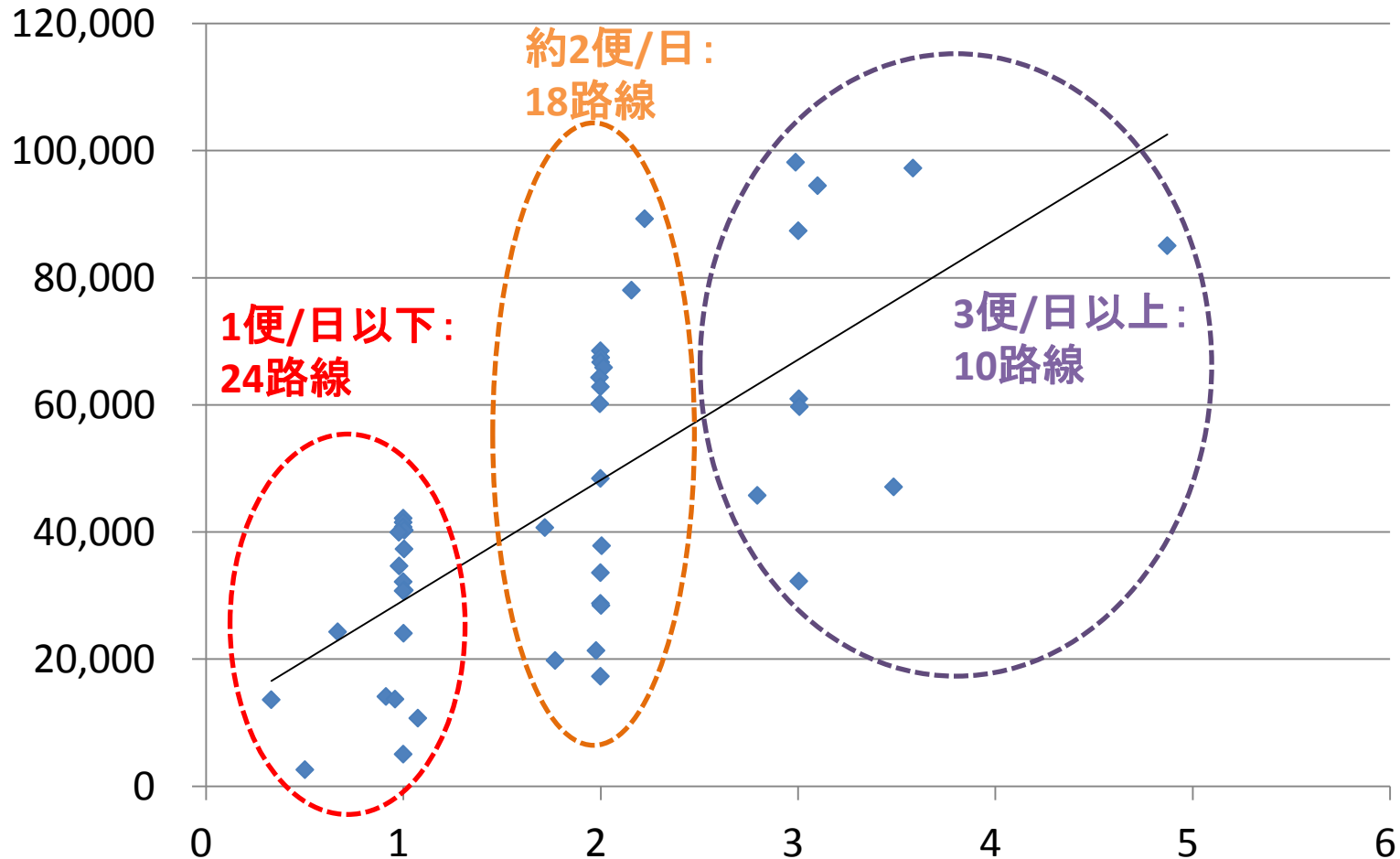


(出所) 全国地域航空システム協議会「平成25年度地域航空事業者旅客実績」よりDBJ作成

地域航空ネットワークの現状(続き)



年間旅客数10万人未満の路線(52路線)の運航頻度及び年間旅客数



(出所) 全国地域航空システム協議会「平成25年度地域航空事業者旅客実績」よりDBJ作成



国際線

- 首都圏空港一極集中が顕著
- 三大都市圏以外の航空ネットワークは拡大の余地あり
- インバウンド需要の拡大を各地域がどのように取り込んでいくかが今後の課題

国内線

- 羽田発着の充実した航空ネットワークに比して地方発着のネットワークは十分ではない
- 都市間の地方発着ネットワークは路線数、便数ともに拡大の余地は十分あると思われる
- 大手エアラインの運航計画に組み込まれた形でのネットワーク拡大だけでは潜在的な需要はあっても刈り取ることは困難か

- ◆ 地域発航空需要を創出するための通常努力に加えて、需要を顕在化させるための直接的な仕掛けが必要ではないか(地域主導の航空ネットワーク構築)
 - 空港アクセスの向上、その他空港利便性の向上(対航空会社、対利用者)
 - 地方が具体的にリスクをとるための仕組み(搭乗率保証制度を超えた仕組み)